

定期巡回・随時対応型訪問介護看護ガーデンハウスはまむら
介護・医療連携推進会議 報告書

開催日 : 令和7年6月19日(木) 14:00~14:30

開催場所 : ガーデンハウスはまむら 3階食堂

<出席者>

	構成区分	人数	構成区分	人数
出席者	利用者		地域包括支援センター	1
	利用者家族	1	地域住民の代表	1
	行政(支所市民福祉課)		知見を有する者	2
	地域の医療関係者	1		
事業所出席者	施設長 課長		定期巡回計画作成者	
			定期巡回・随時対応型訪問介護看護 管理者	
欠席者	4名			

<状況報告> (令和7年3月~令和7年5月)

利用者の状況 (6月1日 現在)	利用人員 (17名) 男性 3名・女性 14名
	要介護1 (6名) 要介護2 (5名) 要介護3 (3名)
	要介護4 (2名) 要介護5 (1名) 平均介護度: 2.2
	平均年齢: 89.37歳 最若: 68歳 最高: 105歳
特記事項	
3月 (登録17名)	新規利用0名、利用終了0名
4月 (登録17名)	新規利用0名、利用終了0名
5月 (登録17名)	新規利用0名、利用終了0名

<活動状況報告>

- ・令和7年3月から令和7年5月の活動実績を報告。
- ・令和7年6月から令和7年9月の活動予定を報告。

<事故等の状況>

5件あり

・(状況)居室から大声あり、訪室すると本人様がベッドとTVの間の床に右側臥位でおられる所を発見する。車椅子はベッド斜めにセットされており、ベッドは10度程度ギャッジアップされていた。夜勤者は朝食後に臥床介助されている。右手甲に擦り傷あり。

(予防策)車椅子の位置に印をつける。臥床時の位置を注意する。(上部)。人感センサーを設置す

る。

- (状況) コールあり、訪室するとL字柵の前でベッドに背中を預けるように長坐位でもたれかかっている本人様を発見する。靴は履いていない状況であった。本人様に確認すると、トイレの後にベッドに座る際、靴を脱ぎ、移る時に座り損ねて滑ったと訴えあり。外傷なし。

(予防策) 靴を脱くのはベッドに座ってからにして頂くように声かけする。(夜間のポータブル使用は拒否あり)。

- (状況) ベッド上端座位でパジャマ更衣中、前方にバランスを崩し、転落する。職員は付き添っていたが、少し背をむけていた時に事故が発生する。
(予防策) 介助中は利用者から目を離さない。また、最後まで更衣対応し、その後、衣類をたたむなどの対応を統一する。

- (状況) 食堂から自席に着こうと歩行器を持ったまま後ろ歩きをした所、バランスを崩し、後方に転倒。その際、近くにあった椅子に後頭部をぶつける。打撲箇所を冷やし、様子観察する。その後、特変なし。

(予防策) 歩行中の見守りの徹底、歩行器に本人が分かりやすい表示を貼る。(ブレーキをかける)。また、下肢筋力維持の為、歩行器の機会を継続していく。

- (状況) 「ドン」と音がして訪室するとトイレの前で転倒を発見。頭頂部裂傷、出血あり、救急搬送する。CT異常なし、4針縫合処置後、帰所。
(予防策) 居室環境変更、人感センサー設置。

<ご意見やご質問>

- 人感センサーは本人の同意が必要か？
- 歩行器は本人に合ったものか？